

# 2019年度 事業計画書

## I. 事業計画策定に向けて

2019年度は、会員へのアンケート調査（協会活動に対する意見・要望）及び2017年度及び2018年度の事業実施結果に対する評価、さらには、酪農・乳業を取り巻く環境を踏まえて、下記の考え方を基本に事業計画案を策定した。

### 1. 基本方針

一般社団法人日本乳業協会（以下、「当協会」とする）は、乳事業の改善並びに牛乳・乳製品の衛生及び品質向上、普及・啓発を図ることにより、日本の酪農乳業の健全な発展及び国民の公衆衛生の向上に資することを目的とし、常に会員の要望や期待される機能を踏まえ、関係団体や会員企業と連携して取組むことを基本とする。

### 2. 期待される機能

- 1) 乳業界の意思反映
- 2) 乳業経営リスク回避
- 3) ステークホルダー（マスコミ、消費者など）対応
- 4) 普及・啓発、PR機能
- 5) 行政・関係団体・会員企業間の調整

### 3. 事業推進における重要視点

酪農乳業界の共通課題解決及び発展のために、より一層の力を発揮し、酪農乳業界や会員にとっての当協会のプレゼンスを高める。また、協会活動を通して、会員並びに都道府県協会傘下会員との一体感を醸成していく。

- 1) 当協会として取り組むべき重要課題の抽出と、その解決への重点的な注力
- 2) 短期的だけでなく、中期的視点を踏まえた取組みの推進
- 3) 費用対効果、労力対効果をより踏まえた取組みの実践
- 4) 酪農乳業関連他団体や会員企業の取組みとの協力、連携、機能分担等の一層の推進
- 5) 種々の手段を使った情報発信・情報収集の強化

## 【酪農・乳業界を取り巻く環境について】

### 1. 個人消費・円相場・消費者物価の動向

	個人消費 (実質増減率)	円相場 (円相場：対ドル)	消費者物価 (前年同期比)
2014年	▲2.9%	109.92円	+2.6%
2015年	▲2.3%	120.13円	+0.5%
2016年	▲1.7%	108.37円	▲0.3%
2017年	▲0.3%	112.13円	+0.5%
2018年	+0.3%	110.40円	+0.9%

(出典) 個人消費：総務省家計調査(2人以上世帯の実質消費支出)  
 円相場：日銀調査  
 消費者物価：総務省統計局(全国、生鮮食料品を除く)  
 なお、2018年度は4月～12月の平均

### 2. 人口減少、少子化・高齢化

※平成29年版内閣府高齢社会白書より

○2017年は65才以上の高齢化率が27.7%に上昇(前年27.3%)

○2065年には高齢化率が38.4%に達し、約2.6人に1人が65歳以上、4人に1人(25.5%)が75歳以上となる。

- ・現役世代1.3人(2015年は2.3人)で高齢者1人を支える社会が到来。
- ・平均寿命は男性84.95年、女性91.35年になり、女性の平均寿命は90年を超えると見込まれている(2016年現在：男性80.98年、女性87.14年)。

### 3. 牛乳等の生産動向(前年同期比)

※農林水産省牛乳乳製品統計より

	2017年度	2018年度4～12月累計
牛乳	+1.1%	+2.0%
加工乳・成分調整牛乳	▲0.7%	▲7.7%
乳飲料	▲5.1%	▲4.5%
はっ酵乳	▲1.5%	▲0.8%

生乳生産量は2017年度▲0.7%、2018年度4～12月累計+0.0%

### 4. 食の安全・安心に対する強い関心

「食品安全について不安を感じている人の割合」※内閣府食品安全委員会意識調査より

2014年8月調査・・・71.0%

2016年3月調査・・・59.6%

2017年2月調査・・・63.0%

2018年2月調査・・・61.2%

3年連続で、日常生活を取り巻く7つのリスク分野(自然災害、環境問題、重症感染症、戦争・テロ、犯罪、交通事故、食品安全)の中で最も低い率であった。

## 5. 国際化の進展

TPP 11 や日・EU の EPA の発効、TAG 交渉の動向、その他貿易交渉の進展によって、グローバル化が更に加速する。

## 6. 環境保全対策(地球温暖化防止対策)

日本経済団体連合会（以下「経団連」とする）／低炭素社会実行計画でのフォローアップ調査結果報告による乳業 10 社（業界の売上高カバー率約 60%）の地球温暖化防止対策投資額

2013 年	901 百万円
2014 年	1,969 百万円
2015 年	946 百万円
2016 年	1,572 百万円
2017 年	1,873 百万円

## II. 事業計画

### 1. 重点課題

2019 年度事業を推進するにあたり、下記の重点課題 5 項目について協会活動を進めていく。

#### 【重点課題】

#### 1) 品質及び安全性の向上による消費者の安心・信頼の確保

- (1) 牛乳・乳製品の安全確保、品質向上
- (2) 牛乳等衛生功労者の表彰

#### 2) 牛乳・乳製品の普及・啓発

- (1) 牛乳及び乳製品に関する知識の普及・啓発と食生活における習慣化

#### 3) 乳業事業の改善

- (1) 需給均衡の推進
- (2) 「酪肉近代化基本方針」、改正「畜産経営安定法」等への対応
- (3) 学校給食用牛乳供給事業制度の円滑な推進
- (4) 乳業再編事業の支援
- (5) 外食産業等と連携した畜産物の需要拡大対策事業への参画

#### 4) 国際化の進展への対応

- (1) 業界意見の集約と行政への提言・意見具申
- (2) 牛乳乳製品輸出部会の運営

## 5) 環境・リサイクル対策の推進

- (1) 環境問題への対応
- (2) 容器包装3Rへの対応
- (3) 各種団体活動への参画

### 【共通課題】

## 6) 事業共通の取り組み

- (1) ブロック会議及び全国事務局長会議の開催
- (2) ホームページを活用した情報提供の充実
- (3) 会員アンケートの実施
- (4) 関係団体活動への参画

## 2. 各部の具体的な取り組み内容

### 1) 品質及び安全性の向上による消費者の安心・信頼の確保

消費者からの信頼確保を図るため、HACCP制度化を見据えた衛生管理体制の構築・整備を進め、人材育成を図ることにより、製品の品質及び安全性の向上に取り組む。また、牛乳・乳製品の衛生・品質上の課題対応のために生産技術委員会、及び適正な表示等実現に向けて乳製品表示検討委員会を開催して検討を進め、行政への要請並びに会員への適切な情報の提供及び周知を行う。

#### (1) 牛乳・乳製品の安全確保、品質向上

##### ① 乳業施設の衛生・品質管理体制強化のための取り組み

衛生管理水準の向上、特にHACCP制度化に対応するために、「HACCP専門家養成講習会」を継続実施したうえで、前年度同様、都道府県協会やブロック単位で主催する「HACCP導入講習会」に講師派遣等を行い支援する。

##### A. 牛乳衛生講習会

牛乳等の衛生管理水準の向上、特に中小規模の乳業工場の底上げを図る観点から、若年の製造・品質管理者等を対象とし、各都道府県協会と当協会の共催で実施する。

衛生管理計画の概要、事例を基にした品質管理方法の習得及びHACCPシステムの理解を目的とするとともに、食品衛生法、乳等省令、食品表示基準等の改正の動向について解説を行う。前年度に引き続き、都道府県行政担当者による食品衛生の動向に関する講義を予定する。

##### B. HACCP専門家養成講習会

総合衛生管理製造過程承認施設等の担当者を対象に、HACCPシステムについて相当程度の知識を認められる者を養成するための

講習会として、東京及び大阪で計2回、下期での開催を計画する。

HACCPの導入、維持管理の支援、講習に必要な内容を整理した冊子を作成し、コーデックスのHACCPガイドラインに基づいた危害要因分析表、HACCPプランの作成と検証の演習を行う。

#### C. HACCP導入講習会

HACCPに沿った衛生管理の制度化に対応する衛生管理計画作成の支援策として実施する。各乳業者の自主的・自律的な取り組みをさらに促す観点から、ブロック単位又は都道府県協会の主催とし、実施にあたっては、当協会から講師、テキスト、演習材料等をパッケージ化して提供し支援する。

#### D. 官能評価員育成研修会

官能評価に関する講義及び演習により、乳業施設などで官能評価員として必要な知識と技能を段階的な研修により習得することを目的としている。

学乳等での風味変化問題にも対応強化を図った内容とし、研修会場や時期を見直して、①基礎コース(初心者のボトムアップを図る内容1日)、②育成コース(3年程度の経験者を対象とした内容1.5日)、③専門コース(さらなるスキルアップを図る内容2日)の3コースで開催する。

#### ② 牛乳・乳製品の法改正や表示に係る取り組み

食品衛生法、乳等省令、食品表示基準等の改正への協力と当協会への要望等の的確な反映、当該法令等の内容の会員への周知徹底を図る。

乳児用液体ミルクに関する消費者への情報提供、調製粉乳等の3-MCPD脂肪酸エステル類、グリシドール脂肪酸エステル類等、国際動向に関する審議会等での効率的な進展を図るための取り組みを引き続き進める。

また、食品表示新基準に対応した乳製品表示ガイドラインの整備(Q&A作成等)と内容の周知を行う。「乳製品表示講習会」は、食品表示法や食品表示基準の基礎知識の習得と、グループ演習を通して理解を深める研修内容となっており、講習内容を見直し、引き続き開催する。

#### ③ 生産技術委員会等の適時開催

牛乳・乳製品の安全確保、品質向上、HACCPの普及促進等に関する検討を行う。

##### A. 病原微生物、有害化学物質等対応

食品の安全情報を注視し、行政へ協力するとともに諸般の情勢を見ながら、情報提供と安全確保のための対応を行う。

##### B. 会員、消費者等に対する安全性確保に関する情報の提供

ホームページやメールにより、確実な情報を速やかに提供する。

C. 生乳検査精度管理認証制度への協力

日本乳業技術協会が実施する標記制度の運営に引き続き必要な協力を行う。

D. Jミルクの生乳段階での残留農薬等の安全性確保事業への協力、牛乳の農薬等の検査の実施

生産者における取り組みの検証として、牛乳の農薬等残留検査を実施する。Jミルクで実施しているポジティブリスト制度に対応した定期検査及びアフラトキシンM1検査は、本年度も各指定団体での年1回の検査が予定されており、実態把握を行う。

E. HACCPの普及に関する活動

HACCP支援法の指定認定機関である日本乳業技術協会の認定等に協力する。

また、厚生労働省（以下「厚労省」とする）が開催するHACCP普及推進連絡協議会、営業規制に関する検討会、食品衛生管理に関する技術検討会に参加、協力する。

HACCP検討小委員会においては、講習会の内容について検討し、講習会の運営に反映させる。

(2) 牛乳等衛生功労者の表彰

前年度同様、8月に選考会、11月に表彰式を開催する。

**2) 牛乳・乳製品の普及・啓発**

牛乳・乳製品の消費拡大に向けた下支えとして、一般消費者を対象とした、牛乳・乳製品に関する知識や新たな知見の普及・啓発活動を推進し、「乳」への理解促進と食生活における習慣化を図る。

推進にあたっては、Jミルクや中央酪農会議等の関係他団体及び乳業各社と、食育活動の内容や連携、機能分担等について検討しながら進める。また、当協会のパブリシティ向上を図るため、オピニオンリーダーや専門紙誌記者に対する活動も継続して取り組む。

(1) 普及・啓発活動の充実・強化に向けた取り組み

① 広報委員会の運営

正会員乳業7社の広報・お客様相談部門の代表者で構成され、年2~3回開催し、食育活動の実施状況や時宜問題に関する情報交換と課題検討を行う。

② 食育活動分科会の運営

正会員乳業7社の食育部門の実務者で構成され、年2~3回開催し、広報委員会で検討した課題について具体的に検討する他、食育活動に関する情

報交換や知識の共有化、ツールに関する検討等を行う。

③ 東京連絡会・関西連絡会の運営

正会員乳業 6 社の東京及び大阪在勤のお客様相談・食育担当で構成され、東京は毎月、大阪は隔月に開催し、情報交換や課題検討を行う。

④ 都道府県協会主催の食育研修会等への対応

学乳の風味変化問題への対応を中心に、都道府県協会が開催する研修会等への参画要請があった場合、Jミルク等の関係団体と連携して、講師派遣や資料提供等の対応を行う。

⑤ 行政・関係機関訪問による食育勉強会・食育授業の実施促進

首都圏及び近畿圏の行政や教育委員会等の関係機関に働きかけ、2019 年度に重点的に取り組むことを計画している「学校・教育関係者や保護者対象の食育勉強会」と「中学校での食育授業」を中心に実施する。

小学生においては、ターゲットエリアを定めて行い、食育DVDを活用した授業の実施も併せて提案する。

⑥ 普及・啓発ツールの充実

食育授業やイベント等における有効なツールとして広く活用されるよう、内容を適時見直すとともに、会員からの提案や新規作成に関する要望にも適時対応する。また、ホームページの「乳と乳製品の知識」の内容についても適時見直す。

やなせたかしキャラクターの使用契約終了に伴う、新「3-A-Day ロゴ」への切り替えがスムーズに行われ、広く活用されるように取り組む。

普及・啓発、食育活動に必要なリーフレット、資料等の内容を定期的に見直す。また、都道府県協会からのパンフレットやツールの提供に関する要望に適時対応する。

## (2) 相談業務・相談員派遣

① 相談対応

電話、食育授業・食育勉強会、研修会、イベント等における相談・問い合わせに迅速かつ的確に対応する。相談内容の高度化・多様化に対応するため、講習会や研修会への参加等による相談員のレベルアップも継続して取り組む。

② 学校・教育関係者、保護者対象の食育勉強会

特に牛乳飲用の習慣化が望まれる中高生の学校関係者や教育関係者、保護者に直接働きかける機会として「食育勉強会」を最重点活動と位置付けて、年間 80 回（前年 60 回）を目標に取り組む。

牛乳・乳製品の栄養的重要性を中心に、牛乳の風味変化に関しても説明内容に加えて実施する。

③ 小中高生対象の食育授業

中高生に重点を移して、小中高合わせて年間 160 回（前年 180 回）を目標に取り組む。

また、学校訪問時には学校長等に対して、牛乳の風味変化に関する説明も行うようにする。

④ 栄養学専攻大学生対象の「3-A-Day 実践・推進セミナー」

将来の栄養教諭・管理栄養士・養護教諭等になり得る学問を専攻する大学生を対象に行うセミナーを継続して実施する。牛乳・乳製品の栄養的重要性と、小中高生の食生活における習慣化の重要性を理解してもらう。年間 8 回を目標に取り組む。

⑤ 業界関係団体のイベントへの参画

Jミルク食育関連研修会、食育推進全国大会、全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会、モーモースクール、東京都健康づくりフォーラム等に参画して、当協会の食育活動内容の紹介と食育授業の実施促進を図る。

(3) 「おいしいミルクセミナー」の充実

「おいしいミルクセミナー」（Jミルク・中央酪農会議と共催）を、牛乳・乳製品の栄養的重要性やそのおいしさ、たのしさを直接消費者にアピールし、消費の裾野拡大を図る機会として、6 月の「牛乳月間」を中心に、前年同様年間 3 回開催する。2019 年度は 5 月 31 日に東京、6 月 19 日に広島、10 月 28 日に秋田での開催を予定する。

酪農の理解、有識者による牛乳・乳製品の栄養的価値に関する講演、乳和食の調理実演・試食、乳業者による試飲・試食を基本的内容として、更なる充実を図る。

(4) 「イベント等での普及・啓発活動」（都道府県協力事業）

畜産フェア等のイベント（12 カ所）において骨密度測定や、相談員による食育活動を行う。牛乳・乳製品を摂食することの重要性を直接消費者に伝える貴重な機会であり、消費拡大を受けて都道府県協会からの申請件数も増加傾向にあるため、2019 年度は助成枠を 14 件（前年 12 件）に拡大して取り組む。

(5) 会員企業による工場見学会開催への支援

「6 月 1 日牛乳の日」「6 月牛乳月間」の認知度を更に高め、消費拡大につながるよう、その時期に集中して実施される「工場見学会」に対して、普及・啓発に関する資料やノベルティグッズを提供することで支援する。

(6) 「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」の充実

学会及びマスコミを代表する斯界の女性オピニオンリーダーを委員とし、前



年同様に年4回開催する。そのうち1回は企業や団体の施設現地見学会を行い、3回は食に関連する話題(学術、行政、トピックス)を取り上げて、聴取する。委員の方々の情報発信により、その内容が牛乳・乳製品の業界や企業の活動に反映されるように、講師と講演テーマの充実を図る。

#### (7)「酪農乳業ペンクラブ」の充実

酪農乳業に関する迅速な情報収集と発信を行うべく、専門紙誌16社の記者を会員とする「酪農乳業ペンクラブ」の事務局運営を継続する。会員へ正しい知識と情報をタイムリーに提供する場及び交流の場として研修会や見学会を企画し、前年同様年間4回実施する。

### 3) 乳業事業の改善

#### (1) 需給均衡の推進

牛乳・乳製品需給検討委員会にて需給予測を作成し、そこから予見される課題について議論し、対応策を講じていく。

##### ① 牛乳・乳製品の需給予測

バター・脱脂粉乳ともに、本年度も引き続き需要量が国産供給量を上回ると予測されるため、年間需給に加えて月別の需要量と生産量、在庫水準について予測精度を高めていく。

##### ② 乳製品需給の過不足対応

精度を高めた予測から、乳製品需給の不均衡を早期に察知し、タイムリーな情報発信と、不足時の適時・適量・適価での輸入・放出対応の要請等を行う。

##### ③ 牛乳・乳製品需給検討委員会の開催

定期的を開催するとともに、必要に応じて追加開催する。

#### (2)「酪肉近代化基本方針」、「畜産経営安定法」等への対応

乳業基本問題検討委員会を適宜開催し、「酪肉近代化基本方針」、「畜産経営安定法」等への対応に対して想定される課題を分析し、迅速に対応するとともに、必要に応じて行政との意見交換を実施する。

また、Jミルクの「酪農乳業産業基盤強化特別対策事業」に参画し、生乳生産基盤強化に向けた取り組みを定期的に検証する。

#### (3) 学校給食用牛乳供給事業制度の円滑な推進

学乳事業の継続を柱とし、学乳の安定供給と安全性確保に向け、Jミルクの学乳問題特別委員会に参画し、行政への要望や課題解決に関して適切な意見発信を行っていく。また、食育等についてはこれまでと同様に当協会主体の取り組みを実施していく。

#### (4) 乳業再編事業の支援

農林水産省（以下「農水省」）が実施する「乳業等の再編・合理化に向けた取り組みへの支援（ハード事業）」について、事業を活用する乳業者に対して必要なサポートを行う。

#### (5) 外食産業等と連携した畜産物の需要拡大対策事業の支援

2019年度は新たな取組はないが、昨年度までに当該事業を利用した乳業者に対して、農水省と連携し実績報告等の必要な支援を行う。

### 4) 国際化の進展への対応

国際貿易交渉等への対応として、業界意見の集約と行政への提言・意見具申に取り組む。

#### (1) 業界意見の集約と行政への提言・意見具申

TPP・FTAやTAG交渉等の進展を注視し、必要に応じて乳業基本問題検討委員会を開催して、情報発信と意見集約を行う。

また、意見集約の内容を踏まえ、国に対して日本の酪農・乳業への影響を最小限にとどめるための施策等に関する意見具申や提言を行う。また、必要に応じて国との意見交換を実施する。

#### (2) 牛乳乳製品輸出部会の運営等

国の補助事業を活用し、日本畜産物輸出促進協議会の牛乳乳製品輸出部会を運営し、牛乳乳製品の輸出拡大に向けた体制整備、輸出戦略の立案等に取り組む。

また、農水省が公募した「畜産物輸出産地緊急対策事業」に応募し、日本産牛乳乳製品の新たな需要フロンティアの開拓を図るため、新規解禁国・地域のマーケット調査等を行う。

### 5) 環境・リサイクル対策の推進

企業にとっても環境問題への取り組みは年々重要性が高まっており、当協会では、経団連/低炭素社会実行計画ワーキンググループ（以下「WG」とする）の一員として 2030年度までのCO<sub>2</sub>排出量目標を掲げ、また 経団連/循環型社会形成自主行動計画WGの一員として、2020年度までの産業廃棄物最終処分量削減目標と再資源化率アップの目標を掲げて推進している。来年度もこの目標を達成するための活動を継続して行う。

#### (1) 環境問題への対応

##### ① 地球温暖化防止の取り組みに関する事業

経団連が主導する低炭素社会実行計画に参画し、以下の 2 項を目標に地

球温暖化防止の取り組み事業を推進する。

- 2020 年度を最終年度として年率 1%以上のエネルギー原単位を削減する。
- 年率 1%以上の CO<sub>2</sub> 排出量を削減して、2013 年度実績の 119 万トンから 2030 年には 100 万トン以下まで CO<sub>2</sub> 排出量を削減する。

国の地球温暖化対策長期戦略に呼応して経団連が主導する「2050 年を展望した温暖化対策の長期ビジョン」の取り組みに対して、業界目標の策定を目指し検討していく。

また、次期(2021 年度～)の行動計画・目標設定の検討を開始する。

## ② 循環型社会形成推進の取り組みに関する事業

経団連が主導する循環型社会形成自主行動計画に参画し、下記目標を推進する。

- 「2020 年度までに安定的に、再資源化率 97%以上、最終処分量を 900 トン以下とする。」

当協会主導の自主行動廃棄物改善 WG で、全国・地域 共同プロジェクトへの都道府県会員の参画促進は継続していく。特に廃棄物処理施設が不足している地域を中心に、アンケート調査や廃棄物管理セミナー開催を通じて、低処理コストで、かつ魅力のあるプロジェクトを計画し、広域での共同回収ルート構築を図る。

国の「プラスチック資源循環戦略」に呼応し、経団連が主導する「業種別プラスチック関連対策計画」に参画し、目標の設定と推進を図る。

また、次期(2021 年度～)の行動計画・目標設定の検討を開始する。

## ③ 環境マネジメントシステムの向上に関する事業

「環境関連法令マネジメントチェックシート」の活用に向け、会員（都道府県会員を含む）への周知徹底を図るため、毎年 10 月の定期改訂に合わせて、11 月に改訂内容説明・解説セミナーを東京会場で開催する。また、地方で開催する同セミナーは、前年度同様、6 月・2 月に全国各地で計 4 ヶ所を計画して進める。

## (2) 容器包装 3R への対応

### ① 飲料用 紙パック リデュース活動の推進

3R 推進団体連絡会で策定した、2016～2020 年度/第 3 次自主行動計画に則り、他の容器包装 7 素材とともに、リデュース活動に取り組む。

- 「500ml 牛乳用紙パックに使用する原紙を 2020 年度までに約 3%軽量化する」の達成に向け、会員への要請活動を継続し実績集計作業に関わる。

## ② 飲料用 紙パック リサイクル活動の推進

全国牛乳容器環境協議会（以下「容環協」とする）では、2016～2020年度の回収率目標他について「プラン2020」を策定、引き続き、容環協の活動を支援する。

- 「2020年度までに飲料用紙パックの回収率50%以上とする」の達成に向け、専門委員会を中心に活動していく。

## (3) 各種団体活動への参画

食品産業センター、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会等で進めている食品関連の各種課題に対応した委員会やWG等に参画し、当協会会員の立場で意見・要望を表出する。

また、国のプラスチック資源循環戦略、容器包装リサイクル法、食品リサイクル法等の見直し動向を注視し、情報をタイムリーに入手し会員へ案内する。

## 6) 事業共通の取り組み

当協会のステークホルダー（会員、消費者、関係団体、行政など）に対して、有用な情報を迅速かつ適切に提供していく。

また、関係団体活動への積極的な参画により、会員の意思に基づく乳業界の意見反映に取り組む。

## (1) ブロック会議及び全国事務局長会議の開催

全国8ブロック（北海道、東北、関東・甲信越、東海・北陸、近畿、中国、四国、九州・沖縄）において、上期（6～7月）と下期（2～3月）に1回ずつブロック会議を開催する。また、12月には全国事務局長会議を開催する。

これらの会議を通して、協会の事業活動に対する理解を深めてもらうとともに、会員の意見を募り、今後の事業活動に反映させていく。

## (2) 会員アンケートの実施

本年度も8月～9月に会員を対象に、当協会の活動に対する意見・要望を募るアンケートを実施する。意見・要望は2020年度の事業計画に反映させるとともに、全国事務局長会議において当協会の見解と合わせて説明し、ホームページに掲載する。

## (3) ホームページを活用した情報提供の充実

本年度も以下の項目及び都度発生する事象について、タイムリーかつ有用な情報発信を行っていく。また、毎月、ホームページ運営委員会を開催し、アクセス記録等を参考に改善を図る。

- ① 各省庁、各団体の発信情報と当協会の運営、会議情報
- ② 乳・乳製品の知識、普及・啓発につながる情報
- ③ 研修会、セミナーの開催情報
- ④ 環境への取り組み情報
- ⑤ 食品衛生関係、需給予測などの情報

当協会ホームページは立ち上げから10年以上経過し、https（暗号化通信）未対応などシステムの老朽化、内容の陳腐化などにより、更新が急務となっている。本年度、クラウド化によるシステム更新とリニューアルを年度内にて予定する。

#### (4) 関係団体活動への参画

酪農乳業共通の課題解決のため、また、都度発生する他団体の課題検討に対しても積極的に参画し、乳業者の立場として意見発信をしていくとともに、取り組みに協力していく。

以 上

## 《 2018年度 会議等開催及び出席実績》

### I. 共通・総務部

2018年4月 ～ 2019年3月

1. 総会・理事会等	
開催日	開催名
4月20日	第32回理事会
5月18日	第7回定時社員総会・第33回理事会
8月3日	第34回理事会
3日	平成30年度牛乳等衛生功労者表彰式選考会
10月19日	第8回賛助会員の会
11月16日	第35回理事会・平成30年度会員企業代表者会議
16日	平成30年度牛乳等衛生功労者表彰式・祝賀会
12月6日	全国事務局長会議
1月8日	乳業団体合同新年賀詞交換会
3月8日	第36回理事会

2. 会員の総会等への出席	
開催日	開催名
4月24日	九州牛乳協会総会
5月9日	長野県牛乳協会総会（長野）
28日	茨城県乳業協会総会（水戸）

3. ブロック会議	
開催日	開催名
6月21日	関東・甲信越地区（千葉）
29日	北海道地区（札幌）
7月5日	東海・北陸地区（三重）
9日	近畿地区（大阪）
17日	九州・沖縄地区（福岡）
26日	東北地区（山形）
26日	東北地区（岩手）
8月21日	四国地区（高知）
2月12日	関東・甲信越地区（東京）
26日	東北地区（福島）
3月1日	中国地区（広島）
5日	四国地区（高松）
6日	東海・北陸地区（静岡）
12日	九州・沖縄地区（福岡）
13日	近畿地区（大阪）
15日	北海道地区（札幌）

### II. 企画・広報部

#### 【企画関係】

1. 乳業基本問題検討委員会	
開催日	開催名
11月6日	第1回乳業基本問題検討委員会 (1) 「畜安法の改正の影響について」 (2) 「食料・農業・農村政策審議会(畜産部会)に向けての乳業者の意見集約」 (3) 「次期酪肉近基本方針見直しに向けての乳業者の意見集約」
11月6日	第1回 乳業における災害リスク管理対策のあり方に関する検討会
12月20日	第2回 乳業における災害リスク管理対策のあり方に関する検討会
2月6日	第3回 乳業における災害リスク管理対策のあり方に関する検討会
3月12日	第1回乳業基本問題検討委員会 (1) 「次期酪肉近基本方針見直しに向けての乳業者の意見集約」

2. 需給検討関係	
開催日	開催名
5月11日	第1回牛乳・乳製品需給検討委員会
9月13日	第2回牛乳・乳製品需給検討委員会
11月13日	第3回牛乳・乳製品需給検討委員会
2月13日	第4回牛乳・乳製品需給検討委員会

3. Jミルク事業関係	
開催日	開催名
5月14日	第1回学乳問題特別委員会
18日	第1回Jミルク需給委員会
7月19日	第2回Jミルク需給委員会
10月17日	第3回Jミルク需給委員会
12月17日	第4回Jミルク需給委員会
1月15日	第5回Jミルク需給委員会

【広報関係】

1. 広報委員会

開催日	開催名
7月3日	第1回食育活動分科会
11月20日	第2回食育活動分科会
11月28日	第1回広報委員会 (議題) 食育活動の取り組みについて；食育活動分科会報告 (議題) 『牛乳・乳製品の取り扱いの消費者啓発パンフレット』の作成 (議題) 新「3-A-Day」ロゴの開発及び普及・啓発ツールのスクラップ&ビルド案 (議題) 次年度の乳協の食育活動の方向性
2月27日	第2回広報委員会 (議題) 乳協 2018年度の活動報告と2019年度活動予定 (議題) Jミルク 2019年度マーケティング・広報関連活動 (議題) 乳児用調製液状乳について (議題) 「乳業における災害リスク管理対策のあり方に関する検討会」の進捗

2. 連絡会

開催日	開催名
4月10日	4月度東京連絡会
11日	4月度関西連絡会
5月8日	5月度東京連絡会
6月5日	6月度東京連絡会
13日	6月度関西連絡会
7月10日	7月度東京連絡会
8月7日	8月度東京連絡会
8日	8月度関西連絡会
9月7日	9月度東京連絡会
10月9日	10月度東京連絡会
10日	10月度関西連絡会
11月6日	11月度東京連絡会
12月7日	12月度東京連絡会
12日	12月度関西連絡会
1月11日	1月度東京連絡会
2月8日	2月度東京連絡会
13日	2月度関西連絡会
3月12日	3月度東京連絡会

3. 酪農乳業ベンクラブ関係

開催日	開催名
4月25日	幹事会
7月5日～6日	総会・研修会（鳥取・島根）
31日	幹事会
8月27日	夏季懇談会
10月17日	幹事会
11月28日	秋季研修会（農林水産省牛乳乳製品課本田調整官様講演）
12月18日	幹事会
1月30日	新年見学会（グリコピアCHIBA）&懇談会
3月22日	幹事会

4. 「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」

開催日	開催名
5月28日	第93回「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」
8月27日	第94回「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」
11月19日	第95回「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」
2月18日	第96回「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」

5. Jミルク事業関係

開催日	開催名
9月11日	第1回「マーケティング専門部会」
12月19日	第2回「マーケティング専門部会」
2月5日	第3回「マーケティング専門部会」

6. 外部会議関連

開催日	開催名
6月23日～24日	第13回食育推進全国大会（大分市）
8月2日	第59回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会（広島市）
7月31日	東京都・健康づくりフォーラム・展示（なかのZERO）
9月13日～14日	Jミルク平成30年度「牛乳食育研修会」（山形県山形市）
10月18日～19日	Jミルク平成30年度「牛乳食育研修会」（神奈川県厚木市）
11月8日～9日	Jミルク平成30年度「牛乳食育研修会」（熊本県熊本市）

### Ⅲ. 生産技術部

#### 1. 生産技術委員会

開催日	開催名
9月 3日	第1回生産技術委員会 ⇒ 拡大調製粉乳技術委員会として開催 1) 調製粉乳の3-MCPD脂肪酸エステル類及びグリシドール脂肪酸エステル類の課題、関係省庁による公表内容、低減対策、今後の動向等について 2) 調製液状乳の規格化、法令改正について 3) 調製液状乳の関係省庁による聞き取りへの対応 4) 添加物調達の課題 5) 今後の調製粉乳小委員会の役割について 6) 乳児用液体ミルクの普及に向けた取組について、農林水産省からの説明

#### 2. 乳製品表示検討委員会

開催日	開催名
5月22日	第1回乳製品表示検討委員会 (議題) 乳製品表示講習会について 開催予定・カリキュラム・内容の打合せ
2月 8日	第2回乳製品表示検討委員会 (表示講習会後打合せ) (議題) 表示問合せ案件の回答の検討、表示講習会内容の修正についての検討

#### 3. 調製粉乳技術小委員会

開催日	開催名
6月19日	第1回調製粉乳技術小委員会 1) 特別用途食品表示許可等に関する告示、通知改正に対する意見 2) 添加物調達の課題について 3) 次回調製粉乳技術小委員会の方針について
7月 4日	第2回調製粉乳技術小委員会→調製乳のマーケ担当情報交換会として開催 1) 乳等省令改正、特別用途表示許可通知改正について 2) 各社近況、要望・意見等 3) 意見交換会の継続開催について
11月15日	第3回調製粉乳技術小委員会 1) 赤ちゃん防災プロジェクト協賛に関する説明 2) 各社近況、要望・意見等

#### 4. 官能評価研修検討小委員会

開催日	開催名
	(開催見送り 2019年4月開催予定)

#### 5. HACCP検討小委員会

開催日	開催名
5月15日	牛乳衛生講習会講師打合せ (議題) 講義内容の見直し、講義スライドの修正
10月24日	第1回HACCP検討小委員会 (議題) HACCP専門家養成研修会の講義・演習内容について
2月13日	手引書作成検討委員会 (議題) 牛乳類の手引書作成について
3月29日	手引書作成検討委員会 (議題) 牛乳類の手引書説明

#### 6. 牛乳衛生講習会

開催日	開催名
7月 6日	牛乳衛生講習会 (東京都千代田区)
8月 9日	〃 (愛知県名古屋市)
10日	〃 (岐阜県岐阜市)
17日	〃 (静岡県静岡市)
21日	〃 (埼玉県さいたま市)
23日	〃 (群馬県前橋市)
28日	〃 (福岡県福岡市)
9月 5日	〃 (広島県広島市)
6日	〃 (香川県高松市)
27日	〃 (岩手県西磐井郡平泉町)
10月 3日	〃 (福島県福島市)
10日	〃 (北海道札幌市)
11月 2日	〃 (石川県金沢市)
6日	〃 (千葉県千葉市)
13日	〃 (長野県長野市)

#### 7. HACCP専門家養成講習会

開催日	開催名
10月29日～31日	HACCP専門家養成講習会 (東京)
11月28日～30日	HACCP専門家養成講習会 (大阪)

#### 8. HACCP導入講習会

開催日	開催名
11月 1日～ 2日	HACCP導入講習会 (岩手)



9. 官能評価員育成研修会

開催日	開催名
5月31日～6月1日	官能評価員育成研修会 育成①コース（東京）
7月12日～13日	“ 育成②コース（神戸）
9月14日	“ 基礎①コース（東京）
10月12日	“ 基礎②コース（神戸）
11月22日	“ 基礎③コース（仙台）
12月13日～14日	“ 育成③コース（東京）
1月17日～18日	“ 育成④コース（神戸）
1月24日～25日	“ 専門コース（東京）

10. 牛乳微生物講習会

開催日	開催名
	（開催なし）

11. 乳製品表示講習会

開催日	開催名
6月22日	乳製品表示講習会（東京）
9月21日	“（大阪）
2月8日	“（東京）

12. 外部会議への出席

開催日	開催名
4月10日	全国飲用牛乳公正取引協議会 専門小委員会
11日	東京飲用牛乳協会 第1回品質改善委員会
13日	全国飲用牛乳公正取引協議会 専門部会
5月25日	全国飲用牛乳公正取引協議会 総会、表彰式
28日	チーズ公正取引協議会 技術小委員会
6月5日	食品保健科学情報交流協議会 総会・勉強会
6月11日	食品産業センター コーデックス対策委員会
13日	東京飲用牛乳協会 第2回品質改善委員会
25日	全国飲用牛乳公正取引協議会 専門小委員会
7月3日	Jミルク ポジティブリスト委員会
4日	日本乳業技術協会 検査精度管理委員会
8月1日	食品産業センター 食品衛生懇話会
8月28日	全国飲用牛乳公正取引協議会 連絡会
9月12日	東京飲用牛乳協会 第3回品質改善委員会
26日	全国飲用牛乳公正取引協議会 専門小委員会
10月2日	食品産業センター コーデックス対策委員会
10月4～5日	東京飲用牛乳協会 見学研修会
12月4日	全国飲用牛乳公正取引協議会 専門小委員会
1月11日	東京飲用牛乳協会 第4回品質改善委員会
1月16日	全国飲用牛乳公正取引協議会 専門小委員会
1月22日	全国飲用牛乳公正取引協議会 連絡会
1月29日	国衛研検査法コラボ事業現地調査同行協力
2月1日	全国飲用牛乳公正取引協議会 専門部会
3月18日	チーズ普及協議会技術小委員会
3月19日	日本乳業技術協会 検査精度管理認証特別委員会
3月25日	全国飲用牛乳公正取引協議会 連絡会

13. 各種審議会・懇談会等の出席・傍聴

開催日	開催名
4月10日	第692回食品安全委員会 傍聴
19日	消費者委員会意見交換（コンプライアンス体制について）
26日	厚労省薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会添加物部会 傍聴
5月31日	液体ミルク勉強会（参議院会館）参加
6月15日	厚労省薬事・食品衛生審議会食品分科会 傍聴
8月24日	第5回厚労省食品衛生管理技術検討会 傍聴
30日	第45回消費者委員会食品表示部会 傍聴
9月26日	第3回厚労省食品営業規制検討会 参考人として出席
10月1日	第4回厚労省食品営業規制検討会 傍聴
10月15日	第5回厚労省食品営業規制検討会 傍聴
10月22日	第6回厚労省食品営業規制検討会 傍聴
11月5日	第7回厚労省食品営業規制検討会 傍聴
11月19日	第9回厚労省食品営業規制検討会 傍聴
12月27日	第10回厚労省食品営業規制検討会 傍聴
12月27日	第9回厚労省食品衛生管理技術検討会 傍聴
1月10日	東京都表示法講習会 受講参加
1月17日	農水省学乳会議 講演
1月21日	厚労省営業許可制度施設設備個別基準意見交換会
1月30日	第12回厚労省食品営業規制検討会 傍聴
2月7日	乳児用液体ミルクの普及を考える会 出席
3月1日	厚労省食品衛生管理に関する技術検討会打合せ会議 参考人として出席
3月19日	農水省食品衛生法、HACCP等説明会
3月22日	厚労省食品衛生管理に関する技術検討会 参考人として出席

IV. 環境部

1. 環境委員会他

開催日	開催名
4月10日	乳協/環境マネジメントワーキンググループ
10日	乳協/自主行動廃棄物改善ワーキンググループ
10日	乳協/環境委員会
24日	ブラ推進協/幹事会(代理)
27日	ブラ推進協/企画運営委員会(代理)
5月24日	LL紙パック リサイクル推進研究会/運営委員会
5月31日	環境委員会/流出パレット事業説明会
6月1日	経団連/低炭素社会実行計画ワーキンググループ
5日	環境法令チェックシート活用セミナー開催(大阪)
8日	経団連/フォローアップ調査説明会
12日	乳協/環境マネジメントワーキンググループ
12日	乳協/自主行動廃棄物改善ワーキンググループ
12日	乳協/環境委員会
15日	環境法令チェックシート活用セミナー開催(札幌)
16日	ブラ推進協/企画運営委員会(代理)
7月6日	環境委員会/委員長、イーコス社と環境委員会 事前会議
10日	ブラ推進協/エコプロワーキンググループ
23日	食産セ/環境委員会
24日	ブラ推進協/広報・啓発委員会
31日	LL紙パックリサイクル推進研究会/会員全体会議、情報共有化勉強会
8月7日	乳協/環境マネジメントワーキンググループ
9月6日	ブラ推進協/エコプロワーキンググループ
18日	食産セ/環境委員会
20日・21日	乳協/環境委員会・自主行動廃棄物改善ワーキンググループ合同会議・施設見学会
10月3日	環境マネジメントワーキンググループ
4日	LL研究会/運営委員会
9日	ブラ推進協/広報・啓発委員会
23日	経団連/低炭素社会実行計画ワーキンググループ
30日	LL研究会/施設見学会(兵庫)
11月6日	ブラ推進協/理事会(代理)
8日	ブラ推進協/エコプロWG
9日	食品産業センター/環境委員会・関環協合同セミナー
11日	環境マネジメントWG、自主行動廃棄物改善WG、環境委員会
13日	環境省/第4回プラスチック資源循環戦略小委員会 傍聴
20日	海洋プラスチック対策イノベーションフォーラム
20日	環境関連法令チェックシート活用セミナー(乳業会館)
30日	食品産業センター/臨時環境委員会
12月3日	ブラ推進協/エコプロWG説明会
7日	LL研/エコプロ 2018 出展応援
7日	ブラ推進協/エコプロ 2018 出展応援
11日	環境マネジメントWG、自主行動廃棄物改善WG、環境委員会
13日	経団連/プラスチック関連対策の充実に関する説明会
17日	農水省・環境省審議会 第19回合同会合(傍聴)
18日	食品産業センター/環境委員会
1月30日	食品産業センター/臨時環境委員会
2月7日	農水省・環境省/食品リサイクル委員会合同会合(傍聴)
13日	環境マネジメントWG、自主行動廃棄物改善WG、環境委員会
18日	ブラ推進協/企画運営委員会(代理出席)
19日	LL紙パックリサイクル推進研究会/運営委員会
22日	環境関連法令チェックシート活用セミナー(熊本)
22日	環境省/プラスチック資源循環戦略小委員会(傍聴)
3月5日	日本容器包装リサイクル協会/再商品化見直し報告会
12日	環境関連法令チェックシート活用セミナー(盛岡)
19日	食品産業センター/環境委員会
25日	経団連/循環型社会形成自主行動計画WG
26日	経団連/環境安全委員会 地球環境部会(低炭素社会実行計画)
28日	経団連/廃棄物・リサイクル部会(循環型社会形成自主行動計画)

2. 全国牛乳容器環境協議会関係

開催日	開催名
4月 3日	容環協/総務・支部組織委員会
4日	容環協/イベント委員会
5日	容環協/広報委員会
11日	容環協/月次運営委員会
12日	容環協/監事監査
5月 8日	容環協/広報委員会
8日	容環協/総務・支部組織委員会
10日	容環協/イベント委員会
16日	容環協/第1四半期運営委員会
25日	容環協/イベント委員会
6月2～3日	エコライフ・フェア 2018 出展 (代々木公園)
4日	牛乳パック再利用マーク普及促進協議会 総会
7日	容環協/広報委員会
7日	容環協/総務・支部組織委員会
15日	容環協/イベント委員会
20日	容環協/月次企画運営委員会
20日	容環協/手すきはがき講習会
27日	紙パック回収システム強化研究会/TKP 神田
7月 3日	容環協/総務・支部組織委員会
5日	容環協/広報委
10日	製紙メーカー意見交換会 (富士市)
11日	容環協/イベント委
12日	容環協/ヒアリング (京都市、城陽市)
14日	容環協/リサイクル講習会 (さいたま市)
18日	容環協/月次-企画運営委員会
24日	容環協/リサイクル講習会 (西東京市)
25日	容環協/リサイクル講習会 (朝霧市)
31日	容環協/リサイクル講習会 (相模原市)
8月 5日	容環協/イベント委員会
6日	容環協/総務・支部組織委員会
22日	容環協/第2四半期-企画運営委員会
25日	容環協/リサイクル講習会 (中央区)
30日	容環協/出前授業 (南アルプス市立白根百田小)
9月 5日	容環協/総務・支部組織委員会
7日	容環協/広報委員会
11日	容環協/出前授業 (広島市立八幡東小)
15日	容環協/月次運営委員会
26日	容環協/出前授業 (弥富市立白鳥小)
10月 1日	容環協/広報委
2日	容環協/イベント委員会
2日	容環協/総務・支部組織委員会
4日	容環協/出前授業 (北九州市立星ヶ丘小)
10日	容環協/出前授業 (尾張旭市立本池ヶ原小)
17日	容環協/月次運営委員会
24日	容環協/地域会議in京阪神 (新大阪)
26日	容環協/「遊ぶ学ぶコンクール」一次審査会
11月 1日	広報委員会
2日	出前授業 (多摩市)
8日	イベント委員会
13日	総務・支部組織委員会
14日	第18回-牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール審査会
21日	企画運営委員会 (第三四半期運営委員会)
22日	イベント委員会 (臨時。エコプロ準備対応)
26日	広報委員会 (臨時。年次報告書作成対応)
28日	エコプロ全体会議
29日	環の縁結びフォーラム (TKP八重洲カナルセンター)
12月 1日	全国小中学校紙リサイクルコンテスト2018表彰式 (古紙再生促進センター)
4日	総務・支部組織委員会
6～8日	エコプロ2018 出展 (東京ビッグサイト)
12日	月次運営委員会
14日	第81回理事会
19日	イベント委員会
20日	広報委員会

1月10日	イベント委員会・広報委員会
11日	総務・支部組織委員会
23日	月次-運営委員会
2月 1日	広報委員会
5日	総務・支部組織委員会
6日	組成調査（印刷工業会液体カートン部会と合同）
14日	紙パック リサイクル促進意見交換会
20日	第4四半期-企画運営委員会
21日	紙パックリサイクル強化研究会
27日	千葉県学乳パックリサイクル説明会
3月 1日	紙推進協/組成調査（名古屋）
5日	総務・支部組織委員会
7日	広報・イベント委員会
13日	月次-企画運営委員会
20日	第82回-理事会
30日	店頭啓発イベント（相模原）

### 3. 飲料用紙容器リサイクル協議会関係

開催日	開催名
4月 4日	3R運営会議(PET協)
5月 9日	3R運営会議(プラ協)
17日	飲紙協/監事監査、理事会、総会
6月 4日	3R運営会議(紙推進協)
6日	容リ協/紙容器事業委員会
6日	紙推進協/総会
14日	3R市民リーダースキルアップ研修会
7月 4日	3R運営会議(スチール協)
6日	紙推進協/組成成分分析調査（帯広）
20日	3R自治体向け意見交換会（東京都）
31日	3R意見交換会（山形市）
8月 1日	3R運営会議(アルミ協)
9月 5日	3R運営会議(飲紙協)
28日	3R推進意見交換会（金沢市）
10月 3日	3R運営会議（段ボール協）
5日	3R推進フォーラム（両国）
12日	3R全国大会（富山市）
16日	容リ協/紙容器事業委員会
31日	3R推進フォーラム（高円寺）
11月 7日	3R運営会議(ガラスびん3R促進協)
22日	臨時運営委員会（紙推進協）
26日	紙バックリデュースWG
27日	3R意見交換会（高知市）
12月 3日	3Rフォローアップ報告（経産省、環境省、農水省）
4日	3R運営会議（PETボトルリサイクル推進協）
5日	経団連主催/容器包装リサイクル法に関する懇談会
12日	3Rフォローアップ報告 記者説明会（経団連会館）
1月10日	3R運営会議（プラ推進協）
2月 6日	3R運営会議（紙R協）
26日	自治体意見交換会
3月 6日	3R運営会議（スチール缶R協会）

以上

## 事業報告に係る附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。